

春季 県高校野球 第5日

8強決まる

春季東北地区高校野球県大会は第5日の17日、青森市の県営、八戸市長根公園、弘前市はるか夢、六戸メイブルの4球場で3回戦8試合を行い、ベスト8が決まった。青森北は2投手の零封リレーで八戸工を4-0で破った。八戸学院光星は同点で迎えた九回に一举5得点して弘前東に勝利。八工大二は八戸との同地区対決を9-5で制し、青森山田は東奥義塾を4-2で振り切った。このほか、八工大一、弘前工、弘前学院聖愛、聖ウルスラが勝ち上がった。第6日の18日は、県営と長根公園で準々決勝4試合を行う。(本紙取材班)

きょうの試合

(左のチームが一塁側)

- ◇準々決勝▷県営
- ▷八戸市長根公園
- 弘前工―青森北(10・0)
- 八工大一―八学光星(10・0)
- 弘学聖愛―八工大二(12・30)
- 青森山田―聖ウルスラ(12・30)

光星 9回勝ち越し

弘東 終盤踏ん張れず



【評】八学光星が熱戦を制した。6-6で迎えた九回無死満塁、代打松本が中前へ2点適時打を打ち、勝ち越しに成功。四死球や山上の中前適時打でさらに3点を奪って

突き放した。投手陣は12安打を許しながらも柴田、及川、秋元の継投で逃げ切った。五回までリードした弘前東は六回に先発成田、2番手のエース戸澤がかまいった。七回以降は2度同点に追いついたが、終盤に再登板した戸澤が踏ん張れなかった。

【八学光星 弘前東】9回表、八学光星無死満塁、代打松本が中前へ2点適時打を打ち、8-6と勝ち越し。長根

松本「狙った」満塁で決勝打

6-6の九回無死満塁の好機。八学光星の仲井監督が代打で送り出したのは、今大会から背番号をつかんだ松本だった。「狙っていた」というスライターを力強く中前へはじき返すと、一塁上で大きくカッポスをしてベンチの仲間の歓声に応えた。

この日が公式戦初打席ながら、勝ち越しの2点適時打を打ち、うれしかった。この一打が自信につながったと笑顔。仲井監督も「よく打ってくれた」とたたえた。チームは8強入りを果たしたものの、中盤までは打線のつながりを欠き、相手を追いかける展開が続いた。指揮官は「走攻守全てに課題がある」と指摘した上で「総力戦で戦うことを選手たちが自覚する意味では、今日の勝ちは大さ。次戦も粘り強く、泥くぐり戦って語った。」

(棟方好華)